

## 令和2年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

## 1 事業評価の概要

協議会は、生活交通確保維持改善計画(※1)に位置付けられた補助対象事業(※2)について、実施状況の確認と目標達成状況等の評価を行ったうえで、その結果を地方運輸局長に報告することとなっている。

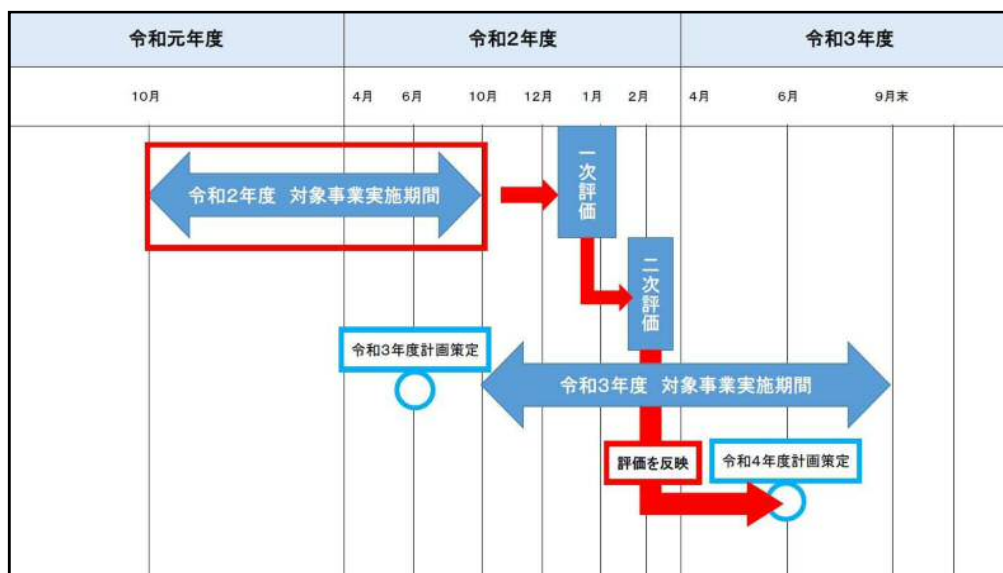
※1 津市地域内フィーダー系統確保維持計画

※2 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の補助対象事業  
(津市コミュニティバス)

## 2 事業評価の目的

- ① 補助対象事業がより効果的、効率的に推進されること
- ② 地域全体のネットワークを踏まえた評価及び見直しがされること

## 3 計画策定から事業評価までの流れ



地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年 月 日

協議会名: 津市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
久居地域		<p>事業評価結果</p> <p>高齢者外出支援事業(シルバーエミカ)は「高齢者向けバスの乗り方教室」など、高齢者向けの利用促進に資する取組と併せて実施することで、地域全体の公共交通利用者の底上げに繋がることを期待します。</p> <p>・市広報紙(広報津)やイベント等での啓発を行うことで、高齢者外出支援事業等の取組について周知を行った。</p> <p>また、久居地域においては、地域からの要望に応じ、久居地域榊原町地内に停留所を新設することで、利便性向上に努めた。</p>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	<p>●利用者数【令和2年度】(前々年度比)</p> <p>久居地域全体 77.2%</p> <p>●目標の達成状況</p> <p>前々年度比96%という目標を達成することができなかった。</p> <p>●考察</p> <p>稲葉ルート、稲葉ふれあい会館ルート、野村ルートにおいて、利用者数の減少が続いており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたことで、全体として例年よりも利用者数が低い数値となっている。</p> <p>また、シルバーエミカの使用率が74.7%と、他地域と比べて低いため、利用促進を強化していく必要がある。</p>	<p>第2次津市地域公共交通網形成計画の方向性に従い津市コミュニティバス等の路線を見直し、令和3年4月から運行する新ルートの運行計画を作成した。</p> <p>シルバーエミカの使用率が他地域と比べて低いため、「高齢者向けバスの乗り方教室」の実施や「地域だより」を活用し地域に特化した広報活動を積極的に実施していくことで、利用促進を行っていく。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、外出を自粛する傾向にあることから、引き続き、運転士のマスクの着用や車内換気の徹底など感染防止に努めるとともに、安全対策の取組を車内に掲示するなど、安心してコミュニティバスを利用いただけるよう、取り組んでいく。</p>
津市	久居地域稲葉ルート 榊原出張所～三重中央医療センター～久居総合支所			<p>●利用者数【令和2年度】(前々年度比)</p> <p>・稲葉ルート 75.6%</p> <p>●目標の達成状況</p> <p>前々年度比100%という目標を達成することができなかった。</p> <p>●考察</p> <p>主要停留所である久居総合支所、久居インターガーデンでの利用者が減少傾向にあり、さらに4月以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響(4月が前々年比47.1%)を大きく受けたため、目標を達成することができなかった。</p>	
津市	久居地域稲葉ふれあい会館ルート 稲葉ふれあい会館～三重中央医療センター～久居総合支所			<p>●利用者数【令和2年度】(前々年度比)</p> <p>・稲葉ふれあい会館ルート60.7%</p> <p>●目標の達成状況</p> <p>前々年度比92%という目標を達成することができなかった。</p> <p>●考察</p> <p>主要停留所である久居インターガーデンや美里ホームランドでの利用者が減少傾向にあり、さらに4月以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響(4月が前々年比41.3%)を大きく受けたため、目標を達成することができなかった。</p>	
津市	久居地域榊原ルート 八知山～三重中央医療センター～久居総合支所			<p>●利用者数【令和2年度】(前々年度比)</p> <p>・榊原ルート 89.1%</p> <p>●目標の達成状況</p> <p>前々年度比100%という目標を達成することができなかった。</p> <p>●考察</p> <p>上半期は目標値に近い数値(94.2%)で推移していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により下半期からの利用者数が減少したことにより、目標を達成することができなかった。</p>	
津市	久居地域榊原ルート 久居総合支所～三重中央医療センター～安子公会所			<p>●利用者数【令和2年度】(前々年度比)</p> <p>・榊原ルート 89.1%</p> <p>●目標の達成状況</p> <p>前々年度比100%という目標を達成することができなかった。</p> <p>●考察</p> <p>上半期は目標値に近い数値(94.2%)で推移していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により下半期からの利用者数が減少したことにより、目標を達成することができなかった。</p>	
津市	久居地域桃園ルート 木造7区集会所～三重中央医療センター～久居総合支所			<p>●利用者数【令和2年度】(前々年度比)</p> <p>・桃園ルート 85.9%</p> <p>●目標の達成状況</p> <p>前々年度比86%という目標を達成することができなかった。</p> <p>●考察</p> <p>上半期は目標値を超える数値(90.1%)で推移していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響(4月が前々年比48%)を大きく受けたため、達成することができなかった。</p>	
津市	久居地域野村ルート 久居総合支所～三重中央医療センター～久居総合支所			<p>●利用者数【令和2年度】(前々年度比)</p> <p>・野村ルート 77.5%</p> <p>●目標の達成状況【令和2年度】</p> <p>前々年度比98%という目標を達成することができなかった。</p> <p>●考察</p> <p>主要停留所である久居総合支所、久居インターガーデンでの利用者が減少傾向にあり、さらに新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4月(前年比38.5%)、5月(前々年比31.7%)は利用者数が大きく減少した。6月以降、利用者数が回復した月はあったものの、年間を通して減少傾向にあり、目標を達成することができなかった。</p>	

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
河芸地域		<p>事業評価結果 高齢者外出支援事業(シルバーエミカ)は「高齢者向けバスの乗り方教室」など、高齢者向けの利用促進に資する取組と併せて実施することで、地域全体の公共交通利用者の底上げに繋がることを期待します。 また、市内を運行する地域間幹線系統の中には輸送量が低いものもあることから、引き続きこれに対応した取組が効果的に実施されることを期待します。</p> <p>・令和元年度に市内で初めて「高齢者向けバスの乗り方教室」を開催するとともに、市広報紙(広報津)での啓発を行うことで、高齢者外出支援事業等の取組について周知を行った。 また、河芸地域においてはルートを見直し、三重交通バス路線「太陽の街線」と重複する千里ヶ丘地区及び社の街地区については、週1回、水曜日のみ当該地区を運行する計画を作成した。</p>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	<p>●利用者数(前々年度比) 【令和2年度】 河芸地域全体 141.6%</p> <p>●目標の達成状況 前々年度比105%という目標を達成することができた。</p> <p>●考察 新型コロナウイルス感染症が蔓延し始めた4月、5月は利用者数の減少がみられたものの、年間通して増加傾向にあり、目標値を大きく上回った。当該地域は、高齢者外出支援事業の制度を導入した平成29年9月末から利用者数が増加しており、シルバーエミカ使用率増加に伴って、集落から商業施設や接続する鉄道駅への往来が増えたことで、利用者数が増加したと考えられる。</p>	<p>第2次津市地域公共交通網形成計画の方向性に従い津市コミュニティバス等の路線を見直し、令和3年4月から運行する新ルートの運行計画を作成した。 当該地域は、高齢者外出支援事業導入時から利用者数が増加しており、全体の90%がシルバーエミカを利用していることから、引き続き、利用促進に努めていく。 また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、外出を自粛する傾向にあることから、引き続き、運転士のマスクの着用や車内換気の徹底など感染防止に努めるとともに、安全対策の取組を車内に掲示するなど、安心してコミュニティバスを利用していただけよう、取り組んでいく。</p>
津市	河芸地域河芸循環北ルート 河芸総合支所～近鉄千里駅・千里ヶ丘団地東～河芸総合支所			<p>●利用者数(前々年度比) 【令和2年度】 河芸循環北ルート 131.5%</p> <p>●目標の達成状況 前々年度比105%という目標を達成することができた。</p> <p>●考察 新型コロナウイルス感染症が蔓延し始めた4月、5月は利用者数の減少がみられたものの、年間通して増加傾向にあり、目標値を大きく上回った。</p>	
津市	河芸地域河芸循環南ルート 河芸総合支所～近鉄豊津上野駅・近鉄千里駅～河芸総合支所			<p>●利用者数(前々年度比) 【令和2年度】 河芸循環南ルート 131.5%</p> <p>●目標の達成状況 前々年度比105%という目標を達成することができた。</p> <p>●考察 新型コロナウイルス感染症が蔓延し始めた4月、5月は利用者数の減少がみられたものの、年間通して増加傾向にあり、目標値を大きく上回った。</p>	
芸濃地域		<p>事業評価結果 高齢者外出支援事業(シルバーエミカ)は「高齢者向けバスの乗り方教室」など、高齢者向けの利用促進に資する取組と併せて実施することで、地域全体の公共交通利用者の底上げに繋がることを期待します。</p> <p>・市広報紙(広報津)やイベント等での啓発を行うことで、高齢者外出支援事業等の取組について周知を行った。</p>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	<p>●利用者数 【令和2年度】(前々年度比) 芸濃地域全体 90.0%</p> <p>●目標の達成状況 前々年度比97%という目標を達成することができなかった。</p> <p>●考察 地域全体を通して、上半期は目標値に近い数値で推移していたが、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受け、下半期から利用者数が減少傾向にあり、外出を自粛する(又は自家用車を利用する)意識が高まっている可能性がある。 なお、芸濃循環河内ルートについては、コロナ禍においても目標値を達成している。</p>	<p>第2次津市地域公共交通網形成計画の方向性に従い津市コミュニティバス等の路線を見直し、令和3年4月から運行する新ルートの運行計画を作成した。 当該地域は、高齢者外出支援事業導入時から利用者数が増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症が拡大し始めた時期から、一部のルートを除いて利用者数が減少傾向にある。 このことから、引き続き、運転士のマスクの着用や車内換気の徹底など感染防止に努めるとともに、安全対策の取組を車内に掲示するなど、安心してコミュニティバスを利用していただけよう、取り組み、利用者数の回復を図っていく。</p>
津市	芸濃地域芸濃循環明ルート 芸濃総合支所～中町・イオンタウン芸濃～芸濃総合支所			<p>●利用者数 【令和2年度】(前々年度比) 芸濃循環明ルート 90.6%</p> <p>●目標の達成状況 前々年度比105%という目標を達成することができなかった。</p> <p>●考察 上半期は目標値に比較的近い数値(95.3%)で推移していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により下半期からの利用者数が減少傾向にある。</p>	
津市	芸濃地域芸濃循環安西ルート 芸濃総合支所～イオンタウン芸濃・中町～芸濃総合支所			<p>●利用者数 【令和2年度】(前々年度比) 芸濃循環安西ルート 85.1%</p> <p>●目標の達成状況 前々年度比96%という目標を達成することができなかった。</p> <p>●考察 上半期は目標値を超える数値(98.2%)で推移していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により下半期からの利用者数が減少傾向(下半期72.6%)にある。</p>	
津市	芸濃地域芸濃循環雲林院ルート 芸濃総合支所～市場・中町～芸濃総合支所			<p>●利用者数 【令和2年度】(前々年度比) 芸濃循環雲林院ルート 78.3%</p> <p>●目標の達成状況 前々年度比105%という目標を達成することができなかった。</p> <p>●考察 上半期は目標値に近い数値(99.9%)で推移していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により下半期からの利用者数が減少傾向(下半期61.3%)にある。</p>	
津市	芸濃地域芸濃循環河内ルート 芸濃総合支所～市場・中町～芸濃総合支所			<p>●利用者数 【令和2年度】(前々年度比) 芸濃循環河内ルート 101.6%</p> <p>●目標の達成状況 前々年度比85%という目標を達成することができた。</p> <p>●考察 令和2年4月、5月はコロナ禍の影響により一時的に減少したが、全体的に例年よりも高い数値で推移している。</p>	

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
安濃地域		<p>事業評価結果 高齢者外出支援事業(シルバーエミカ)は「高齢者向けバスの乗り方教室」など、高齢者向けの利用促進に資する取組と併せて実施することで、地域全体の公共交通利用者の底上げに繋がることを期待します。</p> <p>・市広報紙(広報津)やイベント等での啓発を行うことで、高齢者外出支援事業等の取組について周知を行った。</p>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	<p>●利用者数 【令和2年度】(前々年度比) 安濃地域全体 116.9%</p> <p>●目標の達成状況 前々年度比105%という目標を達成することができた。</p> <p>●考察 上半期は目標値を大きく超える数値(142.2%)で推移していたが、新型コロナウイルス感染症が蔓延し始めた4月、5月は利用者数の減少がみられた。6月以降は利用者数が回復し、年間を通して目標値を上回った。 高齢者外出支援事業の制度を導入した平成29年9月末から利用者数が増加しており、シルバーエミカの利用率増加に伴って、集落から商業施設への往来が増えたことで、利用者数が大幅に増加したと考えられる。</p>	<p>第2次津市地域公共交通網形成計画の方向性に従い津市コミュニティバス等の路線を見直し、令和3年4月から運行する新ルートの運行計画を作成した。 当該地域は、高齢者外出支援事業導入時から利用者数が増加しており、全体の90%がシルバーエミカを利用していることから、引き続き、利用促進に努めていく。 また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、外出を自粛する傾向にあることから、引き続き、運転士のマスクの着用や車内換気の徹底など感染防止に努めるとともに、安全対策の取組を車内に掲示するなど、安心してコミュニティバスを利用していただけよう、取り組んでいく。</p>
津市	安濃地域明合ルート サンヒルズ安濃～曾根橋バス停前～サンヒルズ安濃			B <p>●利用者数 【令和2年度】(前々年度比) ・明合ルート 96.3%</p> <p>●目標の達成状況 前々年度比105%という目標を達成することができなかった。</p> <p>●考察 上半期は目標値を超える数値(129.3%)で推移していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響(4月が前々年比67%)を大きく受けたため、達成することができなかった。</p>	
津市	安濃地域草生ルート サンヒルズ安濃～曾根橋バス停前～サンヒルズ安濃			A <p>●利用者数 【令和2年度】(前々年度比) ・草生ルート 116.0%</p> <p>●目標の達成状況 前々年度比105%という目標を達成することができた。</p> <p>●考察 平成29年度から開始しているシルバーエミカの利用者数の増加とともに、コミュニティバスの利用者数も増加しており、集落(安部真念寺前、二子)から商業施設(曾根橋バス停前)への一定の区間で利用者が増えている。</p>	
美杉地域		<p>事業評価結果 高齢者外出支援事業(シルバーエミカ)は「高齢者向けバスの乗り方教室」など、高齢者向けの利用促進に資する取組と併せて実施することで、地域全体の公共交通利用者の底上げに繋がることを期待します。</p> <p>・市広報紙(広報津)やイベント等での啓発を行うことで、高齢者外出支援事業等の取組について周知を行った。 また、令和元年度より地域からはデマンド交通の導入を希望する声が上がっているため、美杉地域公共交通あり方検討会等で協議を重ねている。</p>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A <p>●利用者数 【令和2年度】(前々年度比) 美杉地域全体 103.5%</p> <p>●目標の達成状況 【令和2年度】 前々年度比98%という目標を達成することができた。</p> <p>※令和元年12月、令和2年2月、令和2年9月の計3回の乗降調査のため、コロナ禍の数値をとっていない。</p>	<p>第2次津市地域公共交通網形成計画の方向性に従い津市コミュニティバス等の路線を見直し、令和3年4月から運行する新ルートの運行計画を作成した。 また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、外出を自粛する傾向にあることから、引き続き、運転士のマスクの着用や車内換気の徹底など感染防止に努めるとともに、安全対策の取組を車内に掲示するなど、安心してコミュニティバスを利用していただけよう、取り組んでいく。</p>
三重交通株式会社	美杉地域コミュニティバス 川上～美杉総合支所前、竹原～一志病院				
三重交通株式会社	美杉地域コミュニティバス 川上～エコープJAみすぎ店前、美杉総合支所前、竹原～一志病院			A <p>●利用者数 【令和2年度】(前々年度比) ・川上ルート 101.2%</p> <p>●目標の達成状況 前々年度比92%という目標を達成することができた。</p>	
三重交通株式会社	美杉地域コミュニティバス 川上～エコープJAみすぎ店前、美杉総合支所前～マックスパリュ(川口店)			<p>※令和元年12月、令和2年2月、令和2年9月の計3回の乗降調査のため、コロナ禍の数値をとっていない。</p>	
三重交通株式会社	美杉地域コミュニティバス 川上～美杉総合支所前、一志病院～マックスパリュ(川口店)				
三重交通株式会社	美杉地域コミュニティバス 丹生俣～竹原～一志病院			A <p>●利用者数 【令和2年度】(前々年度比) ・丹生俣ルート 107.5%</p> <p>●目標の達成状況 前々年度比105%という目標を達成することができた。</p>	
三重交通株式会社	美杉地域コミュニティバス 丹生俣～竹原、一志病院～マックスパリュ(川口店)			<p>※令和元年12月、令和2年2月、令和2年9月の計3回の乗降調査のため、コロナ禍の数値をとっていない。</p>	

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
美里地域		<p>事業評価結果 高齢者外出支援事業(シルバーエミカ)は「高齢者向けバスの乗り方教室」など、高齢者向けの利用促進に資する取組と併せて実施することで、地域全体の公共交通利用者の底上げに繋がることを期待します。</p> <p>・市広報紙(広報津)やイベント等での啓発を行うことで、高齢者外出支援事業等の取組について周知を行った。</p>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	<p>●利用者数 【令和2年度】(前々年度比) 美里地域全体 102.6%</p> <p>●目標の達成状況 【令和2年度】 前々年比100%という目標を達成することができた。</p> <p>※令和元年12月、令和2年2月、令和2年9月の計3回の乗降調査のため、コロナ禍の数値をとっていない。</p>	<p>第2次津市地域公共交通網形成計画の方向性に従い津市コミュニティバス等の路線を見直し、令和3年4月から運行する新ルートの運行計画を作成した。 シルバーエミカの使用率が他地域と比べて低いため、「高齢者向けバスの乗り方教室」の実施や「地域だより」を活用した地域に特化した広報活動を積極的に実施していくことで、利用促進を行っていく。 また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、外出を自粛する傾向にあることから、引き続き、運転士のマスクの着用や車内換気の徹底など感染防止に努めるとともに、安全対策の取組を車内に掲示するなど、安心してコミュニティバスを利用していただけよう、取り組んでいく。</p>
三重交通株式会社	美里地域コミュニティバス 平木～美里総合支所～湯の瀬			<p>●利用者数 【令和2年度】(前々年度比) ・長野・高宮ルート 97.4%</p> <p>●目標の達成状況 前々年度比97%という目標を達成することができた。</p> <p>※令和元年12月、令和2年2月、令和2年9月の計3回の乗降調査のため、コロナ禍の数値をとっていない。</p>	
三重交通株式会社	美里地域コミュニティバス 平木～美里総合支所、美里総合支所前～湯の瀬			<p>●利用者数 【令和2年度】(前々年度比) ・辰水ルート 109.3%</p> <p>●目標の達成状況 【令和2年度】 前々年比105%という目標を達成することができた。</p> <p>※令和元年12月、令和2年2月、令和2年9月の計3回の乗降調査のため、コロナ禍の数値をとっていない。</p>	
三重交通株式会社	美里地域コミュニティバス 美里総合支所～辰水農協前、稲葉口、美里総合支所～湯の瀬			<p>●利用者数 【令和2年度】(前々年度比) ・一志地域全体 95.9%</p> <p>●目標の達成状況 前々年度比97%という目標を達成することができなかった。</p> <p>●考察 高齢者外出支援事業の制度を導入した平成29年9月末から利用者数が大幅に増加しており、地域全体を通して、上半期は目標値を超える数値(108.7%)で推移していたが、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受け、下半期から利用者数が減少傾向にあり、年間を通しては、目標を達成することはできなかった。</p>	<p>第2次津市地域公共交通網形成計画の方向性に従い津市コミュニティバス等の路線を見直し、令和3年4月から運行する新ルートの運行計画を作成した。 当該地域は、高齢者外出支援事業導入時から利用者数が増加傾向にあり、現在はシルバーエミカ利用率が100%に近い数値で推移している。 しかしながら、新型コロナウイルス感染症が拡大し始めた時期から、利用者数が減少しているため、引き続き、運転士のマスクの着用や車内換気の徹底など、感染防止に努めるとともに、安全対策の取組を車内に掲示するなど、安心してコミュニティバスを利用していただけよう、取り組み、利用者の回復を図っていく。</p>
一志地域		<p>事業評価結果 高齢者外出支援事業(シルバーエミカ)は「高齢者向けバスの乗り方教室」など、高齢者向けの利用促進に資する取組と併せて実施することで、地域全体の公共交通利用者の底上げに繋がることを期待します。</p> <p>・市広報紙(広報津)やイベント等での啓発を行うことで、高齢者外出支援事業等の取組について周知を行った。</p>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	<p>●利用者数 【令和2年度】(前々年度比) ・川合ルート 96.4%</p> <p>●目標の達成状況 前々年度比89%という目標を達成することができた。</p> <p>●考察 新型コロナウイルス感染症が蔓延し始めた4月、5月は利用者数の減少がみられたが、6月以降は利用者数が回復し、全体的に例年よりも増加していることから、目標値を大きく上回った。</p>	
株式会社一志運輸	一志地域川合ルート 姫路集会所～川合高岡駅～とことめの里一志			<p>●利用者数(前年度比) 【令和2年度】(前々年度比) ・高岡ルート 95.3%</p> <p>●目標の達成状況 前々年度比105%という目標を達成することができなかった。</p> <p>●考察 上半期は目標値を超える数値(120.1%)で推移していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、下半期で利用者が大幅に減少した(74.4%)ため達成することができなかった。</p>	
株式会社一志運輸	一志地域高岡ルート とことめの里一志～石橋駅・川合高岡駅～とことめの里一志			<p>●利用者数 【令和2年度】(前々年度比) ・川合ルート 96.4%</p> <p>●目標の達成状況 前々年度比89%という目標を達成することができた。</p> <p>●考察 新型コロナウイルス感染症が蔓延し始めた4月、5月は利用者数の減少がみられたが、6月以降は利用者数が回復し、全体的に例年よりも増加していることから、目標値を大きく上回った。</p>	

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名:	津市地域公共交通活性化協議会
-------	----------------

評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費補助金
----------	--------------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>津市は、平成18年1月1日に10市町村の合併の合併により誕生し、面積は711.19km<sup>2</sup>と県内で最も広い。少子高齢化・人口減少が急速に進展する社会において、地域の活性化や地域経済の持続的発展を実現するためには、コンパクトなまちづくりとともに、拠点同士や拠点と居住エリアを結ぶ地域公共交通網の充実が必要不可欠となっている。このような状況の中、津市では、鉄道、乗合バス、航路等が一体となった公共交通網の構築により、「<b>快適で幸せな暮らしを支える公共交通体系が確立したまち</b>」を目指している。</p>
-----------------------------	--